

千葉県護国神社 令和4年度春季大祭奉仕活動

令和4年4月10日(日)、令和4年度千葉県護国神社春季大祭が新境内(千葉市若葉区桜木)において斎行されました。

ここ2年間は、コロナ禍で大祭は神職のみでの斎行でしたが、今回は、参列者約120名(神社関係者、来賓招待者、各市町村遺族会会長等)とまだ限定的ではありませんでしたが、10時から11時20分まで計画どおり実施されました。主な来賓招待者には、千葉県知事、千葉市長、隊友会 青木副会長、隊友会 河野顧問(下総水交會会長として参列)の他、陸自第1空挺団及び高射学校から副団長等の姿が見受けられました。

さて今回の奉仕活動は、神社が令和4年2月に新境内に移転したばかりで地元自治会は大祭奉仕の経験がないこと、新境内は樹木が少ないこと等の理由から、奉仕経験の豊富な隊友会に車両統制、唐櫃奉昇及び受付・供物の準備の依頼がありました。

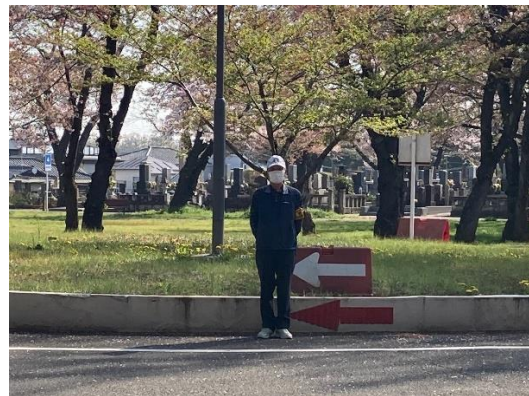
調整の結果、受付・供物の準備は、千葉県自衛隊協力連合会女性部会及び千葉県郷友会にお願いすることとしました。

当日は、今年最高気温25度の快晴の下、車両統制(来賓者用駐車場:市川支部 金井支部長、永井前支部長、遺族会等参列者用駐車場:千葉若葉区 伏見理事役、柏支部 笠水上会員、沼南支部 佐藤会員、木更津支部 垣野会員、岡澤会員の計7名)及び唐櫃奉昇(船橋支部 神谷会員、笹野会員の計2名)の奉仕を実施しました。

特に車両統制は、境内にある来賓者用駐車場30台分と、隣接する桜木霊園に確保した遺族会等参列者用の駐車場約50台分に分かれ、所定駐車場への案内・誘導、参列者の境内・社務所への案内は大変でした。

前護国神社担当の沼南支部 河西幹事役には、このような状況下において適切に全般統制を実施して頂きました。





式典最後の宮司挨拶では、隊友会からの奉仕に対する謝意のお言葉がありました。

最後に奉仕活動を終えた、隊友会会員と自衛隊協力連合会女性部会及び郷友会で集合写真を撮り、新境内における初めての大祭が無事に終わったことを喜び合いました。



春季大祭の恒例であった詩吟、琉球舞踊は、今回も実施されませんでした。コロナが終息すれば必ず復活するものと思います。

千葉県護国神社担当理事役 三浦 洋